



第10期 神奈川区地域づくり大学

第1講 ここから始まる地域づくり大学校



日時:2024年10月27日(日)

13:00~16:00

場所:かなーちえ(神奈川区地域子育て支援拠点)

主催:神奈川区役所・NPO 法人親がめ

総合ファシリテータ:NPO 法人親がめ塚原泉氏

ゲスト講師:NPO 法人まち×学生プロジェクト plus 原島 隆行 氏

■開校あいさつ

■アイスブレイク「5人とトーク」

■オリエンテーション

■ミニ講義「地域づくり大学校の5つの柱」

■すごろくワーク「笑って語ってお互いを知る」

■次回に向けて・ふりかえり

■ひとこと感想共有

■ミニ講座

「神奈川区地域づくり大学校の5つの柱」

① 対話力をつける：人×人の力②知る力をつける③必要なスキルを学ぶ④実践⑤ネットワークにつながる

神奈川区地域づくり大学校の5つの柱

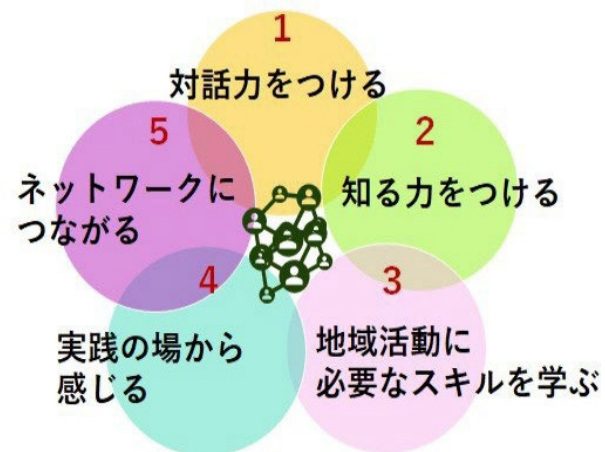
- ① 人とすり合わせていく 視点が交差する
- ② 人生いろいろ いろんな制度、情報がある つかみにいく
- ③ 前述のアイスブレイク体験も自分のものにして使って
- ④ 現場に行かないと味わえない空気・風 肌で感じて「現場へGO」
- ⑤ 受講生 28名全員がネットワーカ 学び合い続けてまだ見ぬ景色を見よう

まんじゅう理論



●まんじゅう理論：

あんこ＝課題（個人の場合はつらさや大変さ）を取り除こうとするよりも皮＝楽しさ・面白さ・工夫・スキル・趣味等に注目して、皮を厚くすることを併行することで、あんこが相対的に小さくなるという理論



あんこ(本人が抱える辛さなど)を減らし取り除こうとするより、むしろ皮の部分に注目しながら、併行することで、皮が厚くなり、あんこは小さくなる。相対的にあんこの割合が減ることによって皮の厚さ・面積は増える。

■アイスブレイク♪ ココロとカラダをほぐし、互いを知り合う



・①名前②地区③ここにいる動機をペアになって交換
受講生それぞれの参加動機が一覧になった用紙を片手に、
20分間のうちにできるだけたくさんの人と語り合います♪
「へえ～そうなんです～」「おなじ同じ～★」などなど
会話が弾んで、時間が足りない～

■すごろくワーク どんな場面でも、どんなテーマでも、対話が進む！盛り上がる！

ルール：
④対等に話す（話す分量に留意）
④全員が話す
④相手の話を否定しない
④話し終わったら、次の人の話をすごろくの周りにカラーペンで書きこむ



初対面の緊張をほぐし、設問に皆で答える
うちに、グッと距離が縮まり自然と
笑顔が広がるすごろくワーク

参加動機や地域づくり大学に期待すること
などの深い問いに、じっと話に聞き入る姿
が見られました。体験したワークは
これからの活動に活かされることでしょう



原島さん作成 地域づくり大学校すごろく

講師の原島氏は、地域ケアプラザ・地域交流コーディネーターの立場からも、身近な町の中に、そこに住まう人達の様々な活動を応援し、つなげ、支える中間支援の役割を担う心強い味方があること(神奈川区社会福祉協議会・区民活動支援センター・かなーちえ、など)を伝えてくれました。

■ふりかえり・感想共有 第1講で心に残ったひと言&感想

分かち合いした言葉（抜粋）

アンテナ / いろんな人がいる / 自分のペースで自分の力を向けていく / 人とつながりたい / 悲しいことから学びがある、学ぶことは自由になること / 対話を極めたい / 新しくつくる / すごろくのゴールがスタート / 出会いと縁 / 働くことは社会とのつながり / 一人でできないこと